



浅野川中学校だより

あさのがわ通信



第38号

令和8年8月3日発行

金沢市立浅野川中学校

Email asanogawa-j@kanazawa-city.ed.jp

学校ホームページURL

<https://kanazawa.schoolweb.ne.jp/1720013>

*学校便り作成にあたり、生徒の文章や写真を使用する場合があります。浅野川中学校個人情報取扱規程を遵守しておりますが、お気付きの点がありましたら学校までご連絡ください。

子どもの「SNS 動画配信」とネット利用のリスクについて ～「遊びの延長」から一歩立ち止まり、ご家庭でルールとリスクの共有を～

生徒のみなさん、充実した夏休みを過ごしていますか。部活動や勉強、友達との時間など、時間を有効に使っていることと思います。スマホやタブレットで動画を見たり、SNS で友達とやり取りしたりする時間も増えているのではないのでしょうか。

今、全国の中高生の間で「SNS での動画配信・投稿」や「AI（人工知能）を使った画像・動画の作成」がとても身近になっています。しかしその一方で、思いがけないトラブルに巻き込まれたり、知らず知らずのうちに人を傷つけて加害者になってしまったりする事件が急増しています。

【データ】中学生の8人に1人（12.3%）が動画を配信している！

政府（こども家庭庁）の最新調査によると、中学生の12.3%が自分や友達の動画をSNSに配信・投稿していることが分かりました。

区分	小学生（10歳以上）	中学生	高校生
動画投稿・配信をしている割合	7.8%	12.3%	14.4%

※Instagramの「ストーリーズ」、TikTok、話題の動画共有アプリ「setlog（セツログ）」などを利用し、「友達に見せるだけだから」と気軽に動画をあげている人が増えています。

知っておくべき「2つの大きなキケン」

① SNS動画投稿の落とし穴

- ・家や学校が特定される：
制服や背景の景色、電柱の表示などから、簡単に自宅や学校、普段の行動範囲が特定されてしまいます。
- ・スクショで永遠に残る：
「24時間で消える」「鍵アカ・友達限定」にしても、誰かが画面録画やスクショをして広めると、絶対に消せなくなります（デジタルタトゥー）。
- ・見た目の批判・悪口：
投稿した動画に対して心ないコメント（容姿批判など）がつき、深く傷つく事件が起きています。

② 「画像・動画生成AI」の新たなリスク

- ・顔写真の無断加工・捏造：
ネットにあげた顔写真が、AIによって勝手に別の体や不適切な画像と合成（ディープフェイク）され、拡散される被害が急増中。
- ・友達の写真の無断AI利用：
友達の顔写真を許可なくAIに入力してアニメ化・加工して遊ぶことも、肖像権の侵害やいじめにつながります。
- ・偽情報の拡散：
AIで作ったリアルな偽画像・偽動画を「本物」としてSNSに投稿すると、社会的な混乱を招きます。

浅野川中生が守るべき「ネット&AI利用の4つの約束」

1 自分や友達の「顔・制服・場所」がわかる動画や写真を投稿しない・AIに入力しない

一度ネットに出した画像や、AIアプリに読み込ませた顔データは、二度と回収できません。

2 「鍵アカ」「友達限定」を信じすぎない

「身内だけだから」と思っても、スクショや転載で外部に漏れる危険性が常にあります。

3 友達の写真・動画を勝手に加工・投稿しない

AIを使ったおもしろ加工やネタ動画でも、相手が嫌な思いをすれば「いじめ」や「権利侵害」になります。

4 あやしいと思ったら・困ったら、すぐに大人に相談する

自分の写真が悪用されたり、嫌なコメントがついたりしたら、1人で悩まず保護者や学校の先生にすぐに相談してください。

技術が便利になっても、その裏にあるリスクを正しく判断する「心とブレーキ」を持つことが大切です。浅野川中学校の生徒として、思いやりと責任を持ったネット利用を心がけ、残りの夏休みも安全に過ごしてください。こども家庭庁でも今後の法改正やガイドライン制定に向けた検討が進められていますが、最も大切なのは日頃からの「ご家庭でのコミュニケーション」です。

有意義で安全な夏休みを過ごし、2学期に元気な生徒たちと再会できるよう、ぜひこの機会にご家庭でもスマートフォンの使い方や SNS への動画投稿について話題にいただければ幸いです。